

NEWS

誰がいつ
決めた

鷺沼駅前再開発

No.10 2021年7月24日発行
鷺沼駅前再開発を考える会
連絡先 藤田 宏
☎090-6034-7686
〔部内資料〕

1万人署名後の新運動方針を確認

川崎市と東急に住民説明会の開催を要求

現区役所を存続し、鷺沼駅前再開発を考える会（「宮前区の会」）と鷺沼駅前再開発を考える会は19日、宮前市民館で、「これからどうする区役所移転・鷺沼再開発」をテーマに学習会を開きました。

学習会では、「宮前区の会」の小久保共同代表が、区役所移転と鷺沼駅前再開発問題についてのこれまでの取り組みの経過と、住民にとっての問題点をわかりやすく報告。これを受けて猪俣事務局長が、1万人署名後の新運動方針について提案しました。

市長選も視野に入れ

猪俣事務局長は、1万人署名は、市議会で不採択になったものの、まちづくり

局長が区役所移転、鷺沼再開発について「市民意見を踏まえて誠実丁寧に対処する」と答弁したことに示されているように、今後の運動を展望する上で、大きな足がかりを得ることになったと、まず指摘。

川崎市と東急にたいして、住民の声を反映するまちづくりをすすめるために、「誠実丁寧」な対応を求め、「住民説明会」の開催を求める方針を提起しました。

区役所移転・鷺沼再開発の見直しを実現するためには、この計画をトップダウンで押し進めている福田市長に市民の声に耳を傾けさせる必要があります。「会」として、10月に行われる市長選挙で「宮前区では、福田市長の支持票が他区と比べて著しく低くすること

が大切」と強調。市長選挙では、①候補者に公開質問状を出し、立候補者同士の公開討論会の実施を求めていくこと、②「会」の政策を実現する候補を市長にするための取り組みを強めることを提案しました。

学習後援会を皮切りに

討論の中では、広範な区民に「区役所移転・鷺沼再開発」の問題点を知らせる「会」としての「住民説明会」を区内各所で開催するなどの意見も出され、こうした意見も取り入れ、9月6日に開催する岩見良太郎埼玉大名誉教授の鷺沼再開発学習講演会を皮切りに、市と東急に住民説明会開催を求める取り組みを進めることを確認しました。

鷺沼駅前再開発について

鷺沼再開発の必要性は何か、をはっきり提示すべきです。陳情署名を否決した理由の一つに「さびれてしまう」というような議論があったそうですが、そう考える根拠を示さなくては議論・話し合いになりません。

税金を使い、私たちの生活に直結する影響を持つ施設に対し、不誠実で利権が絡んでいると思われても仕方ありません。そんな政治で、市民のためということばを用いるのは言語道断ではないでしょうか。

区役所の存続と2つの図書館・市民館の設置、とくに図書館・市民館は、その地域全体の教育・文化レベルの向上に大いに役立ち、まさしく、鷺沼の発展に役立ちます。若い世代の教育環境こそ、大切にすべきだと考えます。

では、タワーマンションである必要があるのでしょうか。鷺沼の地盤を考えただけでも問題があります。それを克服できるかどうかを脇においても、そこまでして、タワーマンションを建設する意義を知りたい。その経費・予算をつぎ込むだけの税金で、どれだけ素晴らしい図書館ができるか、機能的で親しみやすい市民館ができるか。

そのような開発であれば、より鷺沼のためにしっかり生活をしようと思います。それこそ、鷺沼の発展に、貢献できる計画だと考えます。（T・土橋）

投稿歓迎

鷺沼駅前再開発について川崎市や再開発組合に対する意見や要望など、住民の声の投稿を歓迎

迎します。字数は500字程度。「考える会」事務局の藤田宛（090-6034-7686）に連絡ください。（匿名可）